

目指す学校像	「安全・安心・信頼」を基盤に、一人ひとりが輝き、思いやりあふれるあたたかい学校
--------	---

重点目標	1 ICT機器(タブレット端末等)を活用した、児童が主体的に学ぶことができる授業の充実 2 安心・安全な学校に向けた教育環境整備及び教育相談・生徒指導体制の充実 3 コミュニティ・スクールによる学校と地域の連携・協働の推進、情報発信の充実 4 教職員の授業力の向上と学校業務の改善
------	---

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
 方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価	
年度目標				年度評価			実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	〈現状〉 ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、算数ともに、市、全国平均と比べ概ね良好な結果である。 ○市の学習状況調査において、学習に対する関心・意欲・態度に関する質問に肯定的な回答をした児童の割合は、市平均と比べやや低い傾向にある。 〈課題〉 ○全国学力・学習状況調査で、「思考・判断・表現」の記述形式の問題の正答率がやや低い。 ○日頃の学習の様子から、課題解決に向け、自分で思考することや自分の考えを表現することにやや消極的なところが見られる。	・「個別最適な学び」の推進に向けた ICT の活用、授業改善	①教育委員会による学力向上カウンセリング訪問を要請し、本校の学習状況調査結果を分析し、授業改善にいかす。 ②スタディサプリ、ドリルパークを学校及び家庭において活用し、児童が主体的に学ぶことができるようにする。 ③児童のタブレット PC 使用についての使い方やルールを再度確認する。	①学力向上カウンセリング訪問を実施し授業改善にいかすことができたか。 ②学校評価(児童)「授業の内容はわかりますか」の肯定的評価が90%以上になったか。 ③ICT活用状況調査において、「ICT活用の日常化」の肯定的な回答が増えたか。				
		・学びのポイント「じ・し・や・く」につながる教育実践の推進	①年1回以上「学びのポイント」を踏まえた公開授業を全教員が行う。 ②「STEAMS TIME」で、教科横断型「探究的な学び」の単元を計画し、実践する。	①「学びの指標」アンケートの結果の平均値が目標値を上回ったか。 ②外部講師等を活用し、探究的な学びを実施できたか。				
2	〈現状〉 ○R4 学校評価(保護者)「施設設備」77%が肯定的な評価を回答した。 〈課題〉 ○児童一人ひとりの状況を的確に把握し、組織的に支援していく体制を一層充実していく必要がある。 ○近隣への落葉等を考慮し、樹木の剪定や除草作業を定期的に行う必要がある。 ○潤いのある環境づくりのため、清掃活動に力を入れていく必要がある。	・多様な教育的ニーズに応じた特別支援・教育相談体制の充実	①情報端末を活用して児童アンケートや面談等の記録を蓄積し、児童ひとり一人の状況を継続的に把握できるようにする。 ②SSW、SC を活用し、関係機関等との連携を図る。 ③ケース会議を実施し、情報共有と組織的な対応を行う。	①情報端末を活用した記録の蓄積を行い活用できたか。 ③関係機関等と連携し、家庭や本人への支援を継続的に実施できたか。 ③月に2回以上、ケース会議を実施することができたか。				
		・安心・安全な学校生活のための教育環境の整備	①教育委員会と連携し、施設の不具合を迅速に改善する。 ②毎月10日の安全点検を活用し、要修繕箇所の迅速な修繕を行う。 ③環境美化活動に地域やPTAの協力を得る。	①学校評価(保護者)「施設・設備」肯定的な評価が80%以上になったか。 ②毎月の安全点検実施から10日以内に修繕が実施できたか。 ③外部団体等によるクリーン活動を実施できたか。				
3	〈現状〉 ○R4年度、学校運営協議会を設置し、目指す児童の姿について熟識し、学校、家庭、地域が協働し育成していくことを共有した。 ○R4 学校評価(保護者)「学校は、地域と連携し、子どもたちの安全を守るために適切に取り組んでいるか。」94%が肯定的な評価を回答。 防犯ボランティア、下子連等の協力が大きい。 〈課題〉 ○コロナ禍で地域の方が、学校の教育活動を御覧いただける機会が減っていたため、学校の教育活動の情報発信や相互理解が行いにくい。	・目指す児童の姿を地域全体で共有するための情報発信	①学校HPに教育活動の様子を掲載する。 ②学校からの情報発信を紙ベースからHPに切り替える。(学校安心メールとの併用)	①学校ホームページの定期的な更新と充実ができたか。 ②紙媒体での配布物を減らし、電子媒体による情報発信を増やせたか。				
		・学校運営協議会による学校と地域の連携・協働の推進	①熟識を重ね、具体的な取組の日程や役割分担を話し合う。 ②開校70周年実行委員会と連携し、記念行事を実施する。	①学校運営協議会を3回実施し、児童の育成について当事者意識を高めることができたか。 ②学校・地域・保護者と連携した取組を実践できたか。				
4	〈現状〉 ○授業におけるICTの活用について、学校課題研修で研究を重ね、教員のICT活用スキルが向上している。 ○高学年の教科担任制の実施により、担当する教科について、より深い教材研究を行うことができ、授業の質が向上している。 〈課題〉 ○授業におけるICTの活用について、学年、教科等で取組の差が見られる。 ○時間外在校等時間は減少傾向にあるが、業務の負担感や多忙感が教職員に見られる。	・児童の「主体的・対話的で深い学び」を推進するための指導力の向上	①ICT活用による授業改善を学校課題研修のテーマに掲げ、学びのポイント「じ・し・や・くの学び」につながる授業を教員全員が公開する。 ②受講奨励を行い、教員の主体的な学びを推進する。 ③優れた実践に関する資料等を蓄積し共有する仕組みを整備する。	①学びのポイント「じ・し・や・くの学び」につながる授業を全教員が実践し公開したか。 ②教員のキャリア段階に応じた主体的な研修が行い授業等にいかせたか。 ③校務支援システムやチームスをいかし資料等の共有や活用を推進できたか。				
		・学校業務の改善と子ども向き合う時間の確保	①ICTによる事務の効率化を図る。校務におけるクラウドの活用。 ②勤務開始時刻(始業時刻)を早め、放課後の時間の有効活用ができるようする。年休等を活用し月に1回以上の定時前退勤を推奨する。 ③一人で業務を抱え込まないよう、業務を分担し、協働共励を促進する。	①ICTによる業務改善を推進できたか。 ②教職員の時間外等在校時間を月45時間以内にできたか。 ③担任以外の教員やスクールアシスタントを効果的に配置し活用できたか。				